

講習の名称：空間図形を描く

担当講師：澤田麻衣子（共同教育学部准教授）

講習開講日：令和3年8月24日

時間数：6時間

主な受講対象者：小・中・高 算数・数学科教諭

キーワード：空間図形，投影図，見取図，展開図

講習の概要：

空間図形の図表現を指導するための教材「投象を用いて立体図形を見て描く」を、実際に体験します。その体験を通して、算数・数学の授業場面における、空間図形の図表現のあり方について考え、授業での活用について考察します。

講習の展開：

- 第1時限 図表現の指導について・立体の作製
- 第2時限 正投象図（平面図，立面図，側面図）
- 第3時限 副投象図を描く
- 第4時限 斜投象図を描く

受講に当たっての要件（講習内容のレベル）：

- ・特にありませんが、作業として立体を作成します。
- ・内容理解については、三角比の内容を復習いただいているとよいかもしれません。
- ・はさみ，セロハンテープ，分度器，定規（30cm程度あった方がよい），コンパスを持参してください。

授業の形式： 講義および作図・立体の製作活動

履修認定試験： 筆記試験を課します（ノート・配布資料の持込可）。

テキスト・参考文献：

◎テキストは特にありません。

◎参考文献

宮崎興二・小高直樹（2011）『図形科学—空間・立体・投象』朝倉書店